
本日は曇天なり

山本 恒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本日は曇天なり

【Nコード】

N9225C

【作者名】

山本 恒

【あらすじ】

更年期手前の妻、母、嫁……。いろいろな顔を持つ女の日常。

この憤りはいったいどこから来るのだろうか？

夫に対してではない…それを友人達は羨ましいと言う。そうだろうか？

更年期手前の私の仲間は、半分以上、下手したら、そのほとんどが夫に不満を持っている。

理由は、様々…本当に色々なのだ。呆れるくらい。

女達が、カフェいやカフェなんて洒落たもんじゃない。たつぷりモーニングのおまけがついた喫茶店で、何故身を乗り出して語り合うか？

これから歩む人生を語るのではない。ましてや日本の政治経済を憂うのでは、もったない。

夫の事、子供の事、姑舅の事、実家の事、友達の事を面白可笑しく…。

基本的には互いの不幸を語り合うのだ。時には脚色して大袈裟に、時には不幸を割り引いて。本当の不幸はそうそう語れるものじゃない。そんな井戸端会議に、自分の本当の悩みなんか打ち明けやすい。

女達は強かだ。少しの不幸を見せて、相手に大きな不幸を語らせる。それをさもわかったかのように、同情したり励ましたりして、結局は、自分の不幸の慰めをする。

本当の気持ちを聞いて貰ったわけでもない、互いの悩みを解決しあったわけでもない。でもレジをすませる時には、みな晴れ晴れと、

またね！と手を振ってわかれる。

本心なんてどこにもないのに、空々しさも何故か無い。それでいいのだ。それが日常なのだ。

私だって、一番言いたかった事は姑の事なのだ。

私が出かける時間と帰宅する時間を、こっそりカレンダーの裏に書き記す。

この姑の事こそ、今の私の心の刺だ。

まあいい。次の機会に聞いて貰おう。

この手の話はかなり誇張して話してもみな納得する。気の毒がられても、ちつとも不快じゃない。むしろ誇らしい。こんな仕打ちされてるのに、何も投げ出さず家庭を守っている。それは地球を守るウルトラマンより称賛に値するからだ。

秋晴れの気分とは違う。でも、ふんわり秋風が頬を心地よく撫でていった。心の刺も、いつの間にか抜けたような錯覚だ。さっきまでのイライラと憤っていた自分はいない。

これでいい……。さて、夕食の献立を考えるか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9225c/>

本日は曇天なり

2010年12月14日18時51分発行